

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 2

I 基本的なことがら

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
I—1 みどり豊かでゆとりある良好な住環境	1-1 道路から建物の有効宅地まで十分な距離をとり、空間にゆとりをもたせました。
I—2 多世代が定住でき、永く住み続けられ心の豊かさにもつながる、まちづくり	1-2 阪急山田駅、モノレール山田駅の周辺であり、車を持たない単身者が住むには立地的に利便性が高く、住み良いと考えました。
I—3 ユニバーサルデザイン等の導入	1-3 擁壁部分及び建物内の階段の蹴上幅、踏面幅を、建築基準法で定められている基準よりさらに安全側で計画しました。
I—4 安心・安全の生活の確保	1-4 エントランスのオートロック、建物まわりに常夜灯を設置予定です。
I—5 都市の熱環境への負荷の低減	1-5 設計性能評価を取得し、断熱性能、省エネ性能の優れた建物とします。
I—6 地形を活かし、遠景や近景を眺めメリハリのあるまちづくり	1-6 周辺が高低差のある地域ではありますが、隣地の住宅と設計地盤を同程度とすることで調和を図りました。
I—7 魅力ある場所をつくるデザイン	1-7 建物の色彩やデザインは未定ではありますが、街並みに調和しつつも、居住者及び訪れる人が魅力的だと感じられるデザインを心がけております。
I—8 美しく開放された空間づくり	1-8 道路から有効宅地部分を上げる必要のある難しい土地ではありますが、道路側をすべて擁壁面とするのではなく、法面なども使用する事で開放感をもたせました。
I—9 地区計画や建築協定などの積極的活用	1-9 地域の方々に計画を説明し、出てきた意見に対して前向きに対応致します。

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 3

Ⅱ 技術的なことがら (計画の作り方と数値目標)

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
Ⅱー1 地形を活かし、魅力ある住宅地景観をつくることやまちなみの連続性への配慮	擁壁H＝ 1.75m・L＝ 3.05 m 法面H＝ 1.45m・L＝ 7.5 m
Ⅱー2 高さ、容積率、建ぺい率について	最高高さ 9.835m・容積率 142.11 % 建ぺい率 58.46 % 隣棟との間隔 m
Ⅱー3 近隣の建物の配置状況への配慮	隣地の住宅と設計地盤を同程度とすることで調和を図り、安全性も確保しました。
Ⅱー4 周辺から見た都市景観への配慮	道路から建物の有効宅地まで十分な距離をとり、空間にゆとりをもたせました。
Ⅱー5 オープンスペースや緑化スペースと歩行者動線	駐車、駐輪場等を確保しつつ、歩行者用空地も十分に確保しました。
Ⅱー6 建物の外壁面の後退の指標	外壁面後退 道路から 1.95m・隣地から 0.5m
Ⅱー7 有効空地の指標	歩道設置（無・有）W＝ m・L＝ m 敷地内空地 41.54 %
Ⅱー8 敷地面積の規模の指標等	計画に対して十分な敷地面積となっております。
Ⅱー9 防犯性の高い良質な住宅ストック	エントランスのオートロック、建物周りの常夜灯を設置予定です。
Ⅱー10 景観デザイン	街並みに調和しつつも、訪れる人が魅力的だと感じられるデザインを心がけて計画します。
Ⅱー11 まちの庭園化	－
Ⅱー12 工作物などの作り方	配置図による

*このチェックリストに書ききれない場合は、別紙に記入し添付してください